

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 大阪市立高殿小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒535-0031

大阪市旭区高殿6-9-10

E-mail g1513@city-osaka.ed.jp

Website <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e681513>

幼児児童生徒数 男子 254名 女子 255名 合計 509名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、学校目標を「自他を大切にし、確かな学力と豊かな心・健やかな体を持ち、未来を切り拓く子どもを育てる」とし、ESDの実践を通して自分で感じる力や、気持ちや考えを表現する力、多様な価値観を認め尊重する力、他者と協力してものごとをすすめる力の育成を目標とした。

具体的には、本校がこれまで取り組んできた実践に照らし合わせ、4つのテーマを柱に、①「仲間づくり」、②「平和」、③「文化の多様性」、④「基本的人権の尊重」の学習を行った。

①「仲間づくり」

自尊感情を高め、自分を大切にしようとする態度を養い、他者とのコミュニケーションに積極的に取り組もうとする力を育てることを目標としている。

1学期に行っているワッハッハまつりでは、1年生から6年生まででグループを作り、2年生以上で企画したブースをスタンプラリーをしながらまわっていった。違いがあって当たり前、しかし、触れ合わないとなかなかそのことが実感できない。子どもたちは、ゲームや遊びという異学年での交流を通して、互いに違いを認め合っていくことができた。

②「平和」

世界で起きていること、自分たちの身の回りで起きていることに関心を持ち自らの考えをもって、課題の解決に向けて積極的に行動しようとする態度を育てることを目標としている。

6年生の取り組みでは、平和学習として「大阪戦跡めぐり・ピース大阪見学」を行った。また、修学旅行では、平和記念資料館の中を見学したり、被爆体験者の方のお話を聞いたりした。他にも、難民への支援活動である「“服のチカラ”プロジェクト」に参加し、実際に古着を集め届ける活動を行った。

③「文化の多様性」

世界の様々な文化に興味をもち、人々の暮らしにちがいがあることを知るとともにちがいを認め尊重しようとする態度を育てることを目標としている。

1年生の取り組みでは、人権教育読本「ひと・つながり」の「こんにちは」で紹介されている国々について学習を行った。他には、ソンセンム（民族講師）との交流を行った。講堂で韓国・朝鮮の遊び（ペンイ・コヌノリ・チェギチャチ・トゥホ・ピソッチギなど）を体験した。

④「基本的人権の尊重」

持続可能な社会の実現をめざして、すべての人は等しく大切な存在であるということを理解し、ちがいを認め合いながら豊かな人間関係を育もうとする力を育てることを目標としている。

5年生の取り組みでは、車いす体験をした。事前学習として「障がい」と「病氣」の違いなどについて話し合い、「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」など「障がい」は人の配慮や協力によって「障がい」でなくなることを学んだ。

車いす体験では、自走体験と介助体験の両方を全員が体験した。2cmの段差ですら車いすでは乗り越えることが難しいことや、介助される際に持ち上げられる怖さを体験することができた。



①仲間づくり



②平和



③文化の多様性



④基本的人権の尊重

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 道徳の時間)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

「トビウオのぼうやはびょうきです」・「こんにちは」・「とらよりこわいくしがき・ふえふきトルセ」・「ぼくらのゆみちゃん」・「さよなら カバくん」・「さきちゃんとボクとイチゴ」・「大阪大空襲」・「も～お～うしです！」・「きみの家にも牛がいる」・「介助犬ターシャ」・「おきなわ 島の声」・「十人十色のカエルの子」・「いのちをいただく」・「職人の技」・「人の世に熱あれ 人間に光あれ」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校は4つのテーマ（仲間づくり・平和・文化の多様性・基本的人権の尊重）で取り組んでいる。また、教科と関連づけられるように教科横断的に取り組むようにしている。2学期と3学期の年2回、各学年から活動した内容を報告している。2学期は学年課題の中間報告、3学期は学年課題の総括として、各学年が報告している。

各学年、ESD カレンダー（年間計画）を作成しており、データにも残しているため、次年度に引き継ぐことができている。引き継いだ学年は児童の実態に合わせて、取り組む内容を検討している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

毎年、各学年で ESD カレンダーを作成している。学期に一度、各学年で見直しもしている。毎年、昨年度の分を引き継ぐことができるように、データとして残している。引き継いだデータを児童の実態に合わせて、それぞれの学年で取り組む内容を検討するようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

外部での評価は行っていない。内部では、2学期と3学期に評価を行っている。2学期は学年での中間報告、3学期は学年での総括をしている。活動内容の（1）で記した4つのテーマの各学年の進捗状況と取り組んだ内容や取り組んだ成果と課題を各学年で検討し、校内で報告している。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

発信していない。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

実施していない。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

実施していない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校は人権教育を基盤とした教育活動や教育実践を ESD として、取り組んできた。4つのテーマ（仲間づくり・平和・文化の多様性・基本的人権の尊重）で取り組んできた。多岐のテーマで取り組むことで、相手の立場に立って考えたり、行動したりすることができる児童が増えてきている。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

来年度も4つのテーマ（仲間づくり・平和・文化の多様性・基本的人権の尊重）を基本として活動していく。各学年、4つのテーマすべてで活動していくが、児童の実態に合わせて、中心に取り組むテーマを考慮して取り組むようにする。

ESD を取り組んだ当初から、ESD カレンダーを各学年で作成しているので、今年度のカレンダーを基本として、来年度も作成するようにする。ESD カレンダーは4つのテーマだけではなく、4つのテーマと各教科とのつながりも考えて作成しているので、来年度も同様に行っていくようにする。